

金城大学同窓会

《会報誌 第10号》 2016年12月発行号



《同窓会活動報告》

平成28年度役員会 開催報告

《平成28年度 交流パーティー 開催報告》

《各方面で活躍する同窓生》

《同窓会 開催報告》

《大学行事報告》

平成27年度卒業証書・学位記授与式、平成28年度入学式、
新入生歓迎会、新入生合宿研修、クラブ・同好会代表者研修会、
卒業研究発表会、第41回金城祭

《トピックス》

公開講座、ゆうがく広場／悠遊健康サークル、
北國健康生きがい支援事業、
第11回保健・医療・福祉創造フォーラム、
台湾代表女子バレーボールチーム来学・親善試合開催、
医療情報コース開設

《研究・教育活動報告》

研究活動成果報告会開催報告、
科学研究費助成事業採択状況

同窓会活動報告

平成28年度役員会 開催報告

《第1回役員会》

平成28年5月28日(土) 10時30分～12時30分

【議題】

前回役員会「平成28年3月30日(水)」議事録確認

1. 平成28年度 役員会の改選

2. 平成27年度 事業報告・決算報告

3. 平成28年度 事業計画・予算

平成28年度 事業計画・予算について、町野幹事より資料に基づき説明がなされ、今年度は交流パーティー案内を2度(5月・8月)送付することから通信費を増額する提案がなされ、全会一致で承認されました。

4. 交流パーティー

交流パーティーについて、濱田会長より資料に基づき説明がなされ、開催内容等の確認がなされました。目標参加人数については、今年度は200人を目標とし、そのために方法として以下の点を挙げる。

- ・案内ハガキを2回発送する。1回目は5月末に案内ハガキを発送し同窓生へ情報提供を行うこと、また、2回目の発送については、シフト制の方々も多くいることから、9月初旬には同窓生の手許に届くよう発送を行う。その際にはFacebookアカウントやQRコードを一緒に載せる。
- ・今後の仕事に活かせるような講演を行い、同窓生の多い施設や会社と呼びかけ話し合いの場を作り、より有意義な時間を持つ。

- ・委員同士や委員と会員との繋がりを強化するため、Facebookなどのソーシャルネットワークの作成、委員やゼミの先生方から会員への声掛けを行う。また、同窓会役員の出席率の向上を図っていく。

5. その他

① 大学同窓会連絡ツール

大学同窓会連絡ツールの拡充のため、Facebookを利用し交流パーティーの参加者数の増加を図っていく。現段階では投稿発信のみとし情報管理については、同窓会役員及び事務局までとし管理を行っている。

② 短期大学部40周年記念事業に対して

短期大学部が40周年を迎えるため、大学同窓会として協賛(寄付)を行う。詳細については、短大同窓会と相談の上、進めていく。

③ 役員会開催

次年度の交流パーティーの発展に繋げていくため、交流パーティー開催後、1、2カ月以内に役員会を行う。

④ 大学同窓会から大学への支援

金城大学の更なる発展のため大学同窓会として支援を行っていく。具体的には部活動などのスポーツ事業や新入生の奨学金負担などに協力していく。支援を行う際は、公平性を保つために、規程等を整備した上で本事業を行う。

⑤ 交流パーティー実行委員会

交流パーティー実行委員会開催について、7月15日までに開催し、交流パーティーの内容等についての報告及び、役員及び同窓生へ向けた連絡を行う。

《金城大学同窓会事業計画》

■ 第1回金城大学同窓会役員会

5月28日(土) 10時30分～12時30分

■ 金城大学同窓会役員報告会

KKRホテル金沢 10月22日(土) 17時30分～18時00分

■ 平成28年度金城大学交流パーティー

KKRホテル金沢 10月22日(土) 18時00分～20時00分

■ 第2回金城大学同窓会役員会

12月初旬 10時30分～12時30分

■ 交流パーティー案内発送

5月

■ 交流パーティー実行委員会

6月～7月

■ 交流パーティー案内発送

8月

■ 会報誌発行

12月

■ 金城大学短期大学部開学40周年記念事業協賛

■ 金城大学学生支援協賛

予算・決算 (平成27年度決算・平成28年度予算)

一般会計

(単位:円)

収入の部	平成27年度決算	平成28年度予算
会費	4,380,000	5,000,000
交流パーティー厚志	20,000	—
交流パーティー補助費	80,000	—
利息	1,041	800
雑費	0	0
前年度繰越金	3,395,200	2,568,083
合計	7,876,241	7,568,883

特別会計

(単位:円)

収入の部	平成27年度決算	平成28年度予算
特別会計繰入金	500,000	500,000
利息	4,771	4,700
前年度繰越金	22,426,796	22,426,796
合計	22,931,567	22,931,496
支出の部	平成27年度決算	平成28年度予算
予備費	—	22,931,496
合計	0	22,931,496

一般会計

(単位:円)

支出の部	平成27年度決算	平成28年度予算
会議費	131,016	200,000
交流パーティー運営費	990,704	1,300,000
金城祭補助費	243,460	300,000
会報誌制作費	493,000	600,000
ホームページ制作費	129,600	150,000
通信費	890,181	1,300,000
雑費	202,197	200,000
会費戻金	20,000	200,000
同期会開催助成金	58,000	500,000
事務費負担金	500,000	500,000
特別会計繰入金	500,000	500,000
寄附金	1,000,000	0
予備費	150,000	1,818,883
合計	5,308,158	7,568,883

※【一般会計】(収入の部)合計7,876,241円-(支出の部)合計5,308,158円=2,568,083円を次年度繰越金とする。

※【特別会計】(収入の部)合計22,931,567円-(支出の部)合計0円=22,931,567円を次年度繰越金とする。

※【特別会計】繰入金(次年度繰越金)は、定期預金として管理する。

平成28年度 交流パーティー 開催報告

10月22日(土)に、KKRホテル金沢にて、「金城大学同窓会 交流パーティー」が開催され、卒業生34人、教職員24人の出席がありました。

はじめに、濱田陽介会長(1期生)より日頃の同窓会運営へのご理解ご協力に対し、謝辞が述べられました。学校法人金城学園 加藤真一理事長からご挨拶いただいたあと、役員会報告会にて、審議承認された事項について濱田陽介会長より報告が行われました。

引き続き、行われた交流パーティーでは、金城大学 半谷静雄学長よりご挨拶・乾杯のご発声を



おいしそうな料理やデザートが並ぶビュッフェ



濱田陽介会長

いただき和やかな雰囲気でも始めました。旧友や恩師たちとの再会に、近況報告や思い出話に花が咲く中、今年度より発足された実行委員会を中心に企画された2種類のゲームなどが行われました。ゲームの結果発表の際には景品の当選発表もあり、大きな歓声などが上がり、一緒に参加していた子供たちも笑顔あふれる素晴らしい企画となりました。最後に、記念として集合写真を今年度も撮影し、盛会のうちに終了しました。

当日は、ご多用の中ご出席いただいた皆様、誠にありがとうございました。



交流パーティー(箱の中身は何でSHOW!!)の様子

平成28年度役員

会 長	濱田 陽介 (1期生)	副 会 長	中野 雄介 (1期生)	河合 直人 (8期生)	
会計監事	上田 良和 (1期生)	園谷 準 (1期生)			
委 員	内島一憲 (1期生)	今村 裕子 (1期生)	紺 昇平 (1期生)	赤津 慎太郎(2期生)	久田 緑 (2期生)
	寺井 紀裕 (2期生)	川口 雄幸 (3期生)	川嶋 玲子 (3期生)	田中 宏治 (3期生)	七野 澄麗 (3期生)
	山下 和恵 (3期生)	安土 貴子 (4期生)	今田 志未 (4期生)	林 裕也 (4期生)	赤木 由未子(4期生)
	庄田 紋子 (4期生)	清水 敦子 (4期生)	岩城 涼子 (5期生)	山崎 舞 (5期生)	越村 知恵 (5期生)
	高橋 里枝 (5期生)	松下 早希 (5期生)	池上 実希 (5期生)	辰田 沙弥香(5期生)	花井 友美 (6期生)
	稲葉 文香 (6期生)	大久保 朋美(6期生)	早崎 久穂 (6期生)	高橋 孝明 (6期生)	西村 仁美 (6期生)
	坂本 千夏子(6期生)	荒木 友希 (7期生)	土田 行美 (7期生)	成川 千絵 (7期生)	西川 美香 (7期生)
	鷹合 いつか(7期生)	澤田 竜之介(8期生)	西谷 彰紘 (8期生)	青木 由依 (8期生)	竹田 圭佑 (8期生)
	鷺田 恵 (8期生)	岩田 めぐみ(9期生)	北村 允人 (9期生)	劔村 祐依 (9期生)	藤川 彩 (9期生)
	中佐 武尊 (9期生)	濱 星美 (9期生)	藤川 諒也 (9期生)	田中 貴大 (10期生)	前田 静香 (10期生)
	廣岡 恵莉香(10期生)	岩上 倫太郎(10期生)	坂 千晶 (10期生)	池田 光次郎(11期生)	櫛引 敏裕 (11期生)
	谷内 奈津美(11期生)	三平 拓矢 (11期生)	村澤 卓朗 (11期生)	椎木 祐希 (12期生)	山本 有佳里(12期生)
	柏木 久夏 (12期生)	墨谷 沙紀 (12期生)	和田 卓也 (12期生)	東木 悠樹 (13期生)	吉藤 大貴 (13期生)
	青山 祥子 (13期生)	岡田 智成 (13期生)	中村 瑤 (13期生)		

幹 事 岡村 綾子、斎藤 修啓、野口 雅弘、川口 朋子、武田 陽子、松山 哲也、町野 圭亮、藤 和子

各方面で活躍する同窓生

子どもの成長に立ち会える 喜びが何よりのやりがい

私は保育教諭として「粟津こども園」に勤務して2年目になります。こちらには、在学中から実習やボランティアでお世話になっており、当時から先生方の温かい雰囲気が好きでした。「こんな職場で働きたい！」という希望が現実のものとなりうれしい限りです。

金城大学での4年間で思い出深いのは、実習だけでなくボランティアでもいろいろな園を訪問し、多くの先生方や子どもたちと関わる事ができたことです。また、幼稚園教諭免許、保育士資格に加え、社会福祉士の国家資格を取得したこと。先生方や同級生たちと頑張った試験勉強がとても印象に残っています。

保育教諭の仕事とは、保護者の代わ



中村 奈保子さん

【社会福祉法人粟津福祉協会 幼保連携型認定こども園 粟津こども園】
社会福祉学部 平成26年度卒業 12期生



りとなって就学前の子どもたちに愛情を注ぎ、遊びなどの活動を通してさまざまな経験を積ませることだと考えています。それぞれの子どもが発達段階にもよりますが、しっかりと歩けるようになったり、人前で堂々と話せるようになったりといった「成長の瞬間」に立ち会える喜び、やりがいは計り知れないものがあります。

以前、私が担任するクラスに、ある施設に通っている子がいました。その施設の方や社会福祉士の方などさまざまな立場の担当者が集まる会議に出席する機会を得て、多方面からの情報交換や連携を模索したのです。実際に社会福祉士が保育の現場で果たす役割を目の当たりにすることができ、私自身にとっても大きな刺激となり、とても勉強になりました。

仕事面で心がけているのは「笑顔」です。相手が大人であろうと子どもであろうと、笑顔のほうが話しやすと思います。そうして、子どもたちや先生方からも、保護者の方々からも話しやすくて頼りにされる保育者になりたいです。将来的には、社会福祉士の資格を生かして、特別支援が必要な子どもに寄り添える保育者を目指していきます。

たくさん経験を積んで 何でも対応できるPTTに

私が「理学療法士（PT）」になろうと思ったのは高校時代のこと。母と進路の話をしていてPTTという職種のことを聞き、興味を持ったのがきっかけです。中学・高校とテニスをしていて身体を動かすことは好きだったので、自分に向いていると思えました。地元の金城大学に理学療法学科ができたのも、私にはもってこいでした。

大学時代を振り返って思い出されるのは、勉強が大変だったこと。あんなに勉強ばかりしなければならぬとは……。これまでの人生で一番勉強したと思います。その甲斐あって無事、国家試験にも合格でき、こうして理学療法士として働いています。

私が勤める「やわたメディカルセン



北山 彩香さん

【特定医療法人社団勝木会 やわたメディカルセンター】
医療健康学部 平成26年度卒業 12期生

ター」は、県内でもトップクラスのリハビリテーションを提供する病院として知られています。こちらに就職を決めたのは、大学4年次の臨床実習でお世話になった際、職場の雰囲気が良かったから。また、リハビリテーション施設・人員の規模が大きいので、いろいろな経験を通して成長できると考えたからです。

私は現在、リハビリテーション技師部のPTTとして、脳卒中などにより片麻痺を呈した方や骨折した方などの治療を担当しています。具体的には、器具（補助器具）を使用した歩行練習や筋力トレーニングなどを行い、自宅復帰や職場復帰に向けたお手伝いをしています。例えば、疾患名が同じでも機能低下の程度が異なっていたり、年齢や生活習慣が違ったりしますから、一人ひとりの患者さんに最適な介入方法を考えていく必要があります。

人生の大先輩である患者さんへの接し方に、苦心する場面もあります。一日の仕事が終わる頃には心身ともにヘトヘトになりますが、患者さんからだかく「ありがとう」の言葉が私のモチベーションを上げてくれます。これから、たくさん経験を積んで幅広い疾患に対応できる理学療法士になることが当面の目標です。



同窓会 開催報告

ゼミ卒業生親睦会

平成28年8月6日(土)にゼミ卒業生による情報交換会として、県内外で理学療法士として働く卒業生同士の意見情報交換会を開催。

普段は自分の働く病院・施設での情報共有となりますが、他施設の情報や理学療法について語り合う良い機会となりました。また、今回は在学生も参加しており、在学生への指導や就職相談などもでき、卒業生及び在学生とも有意義な時間を過ごせました。



金城大学 卒後研修WG



平成28年9月24日(土)に金城大学卒後研修WGの活動として、毎年秋に医療健康学部卒業者を対象に開催されている、知識の向上を目的とした研修会と卒業生間で交流を深めることを目的とした懇親

会が開催されました。

研修会では金城大学の神谷晃典講師を迎え「明日から利用できる姿勢・動作分析演習」をテーマとし、最新のエビデンスに基づく講義をしていただきました。また、懇親会では卒業生の上下のつながりを強め、先生方との交流を図ることができました。

同窓生活動報告の募集

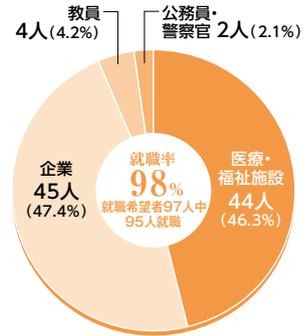
同窓生の皆様におかれましては、各方面でご活躍のことと思います。その中で、「同窓会を開催しました」「同じサークルだった仲間と久々に集まりました」など、同窓生の近況報告を募集しています。是非、同窓会会報誌でも活動の様子を掲載させていただきたいと思っておりますので、お気軽に情報をお寄せください。

平成27年度 卒業生の進路結果 (平成28年5月1日現在)

職種別	医療・福祉施設	企業	教員・公務員・その他
介護職 35人	高齢者施設 29人	医療・福祉 8人	教員 4人
支援員 7人	障害者施設 7人	卸売・小売業 13人	公務員 1人
相談援助職 5人	児童施設 2人	運送運輸業 3人	警察官 1人
医療ソーシャルワーカー 2人	病院 4人	金融業 1人	計 6人
看護助手 1人	社会福祉協議会 2人	不動産業・物品賃貸業 2人	
営業職 17人	計 44人	建設業 2人	
販売職 11人		宿泊業・飲食業 1人	
事務職 5人		製造業 8人	
医療事務 1人		情報通信業 4人	
教員 4人		サービス業 2人	
警察官 1人		生活関連サービス業 1人	
生産技術職 4人		計 45人	
接客職 1人			
スポーツ指導員 1人			
計 95人			

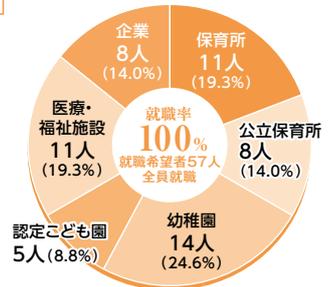
職種別	保育所・幼稚園・医療・福祉施設	企業	教員・公務員・その他
保育士 22人	保育所 11人	保育所 1人	公立保育所 8人
幼稚園教諭 13人	幼稚園 14人	医療・福祉 2人	計 8人
保育教諭 6人	認定子ども園 5人	卸売・小売業 1人	
介護職 3人	乳児院 1人	教育学習支援業 1人	
支援員 4人	児童養護施設 3人	運送運輸業 1人	
相談員 1人	児童福祉施設 1人	宿泊業・飲食業 1人	
児童指導員 2人	高齢者施設 3人	不動産業 1人	
営業職・販売職 4人	病院・歯科 3人	計 8人	
接客職 1人	計 41人		
事務職 1人			
計 57人			

職種別	医療・福祉施設	進学・その他
理学療法士 (大学院進学者1含) 66人	医療機関 62人	大学院 1人
計 66人	福祉施設 3人	計 1人
	計 65人	



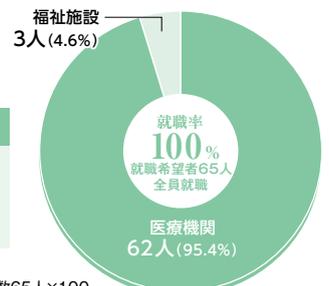
卒業生	101人
就職希望者	97人
就職者	95人
進学者	1人

就職率97.9%=
就職者数95人÷就職希望者数97人×100



卒業生	58人
就職希望者	57人
就職者	57人

就職率100.0%=
就職者数57人÷就職希望者数57人×100



卒業生	70人
就職希望者	65人
就職者	65人
進学者	1人

就職率100.0%=
就職者数65人÷就職希望者数65人×100

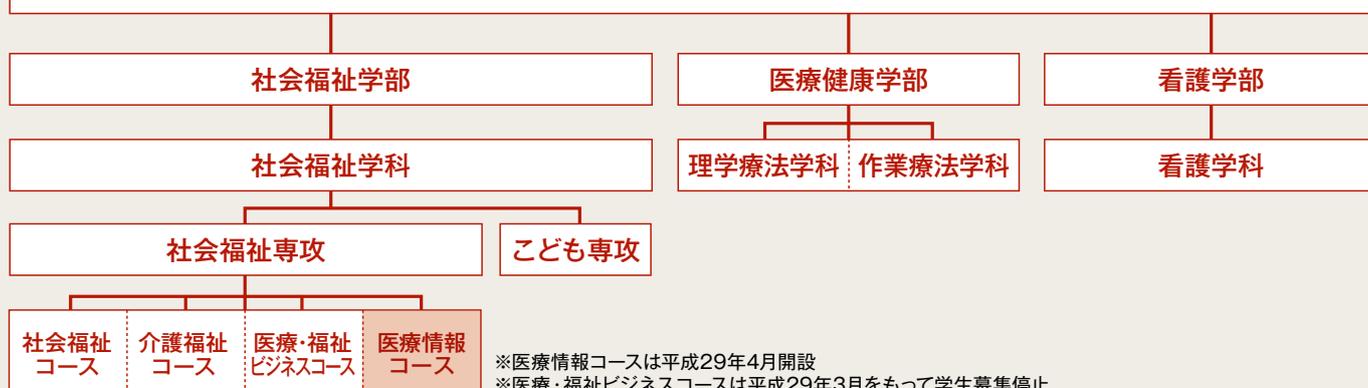
※医療健康学部 作業療法学科は平成25年度開設のため卒業生なし

平成28年度 金城大学 学部・学科構成図 一覧

金城大学大学院 リハビリテーション学研究所 リハビリテーション学専攻*

※平成29年4月から「総合リハビリテーション学研究所 総合リハビリテーション学専攻」に名称変更予定です。

金城大学



平成29年度
金城大学大学院が
変わります

金城大学大学院総合リハビリテーション学研究所 総合リハビリテーション学専攻*

- 保健・医療・福祉関連国家資格の国家資格、教員免許取得者（見込み者）の方も入学可能になりました。（事前の受験資格審査が必要な場合があります。）
- 福祉・教育などを含む多様な学修・研究を目指し、平成29年4月より、総合リハビリテーション学研究所・総合リハビリテーション学専攻に名称変更予定です。

本研究科受験希望の方には、詳細が決まり次第資料等をお送りしますので、必ず事前にご連絡ください。
 金城大学大学院のカリキュラム、教員、研究例などについては、金城大学 HP (<http://www.kinjo.ac.jp/ku/postgraduate/>) に掲載されていますので、ご参照ください。

平成27年度 金城学園 財務概要

事業活動収支計算書

(単位：千円)

科 目		金 額
教育活動収支	教育活動収入計	3,564,449
	教育活動支出計	3,597,942
	教育活動収支差額	-33,494
教育活動外収支	教育活動外収入計	3,506
	教育活動外支出計	25,512
	教育活動外収支差額	-22,006
	経常収支差額	-55,499
特別収支	特別収入計	230,715
	特別支出計	23,886
	特別収支差額	206,829
	基本金組入前当年度収支差額	151,330
	基本金組入額合計	-692,260
	当年度収支差額	-540,930

貸借対照表

(単位：千円)

資 産 の 部		金 額
固 定 資 産		10,085,852
有形固定資産		9,632,783
特定資産		370,583
その他の固定資産		82,486
流 動 資 産		2,250,300
資産の部 (合計)		12,336,152
負 債 の 部		金 額
固 定 負 債		1,769,922
流 動 負 債		772,669
負債の部 (合計)		2,542,592
純 資 産 の 部		金 額
基本金		13,624,275
繰越収支差額		-3,830,715
純資産の部 (合計)		9,793,560
負債及び純資産の部 (合計)		12,336,152

※ 詳しくは、金城学園ホームページ (<http://www.kinjo.ac.jp/>) をご覧ください。

大学行事報告

平成27年度卒業証書・学位記授与式 平成28年3月18日

平成28年3月18日(金)に第13回卒業証書・学位記授与式が白山市松任文化会館にて挙行されました。社会福祉学部の卒業生159人、医療健康学部の卒業生70人が学び舎を後にし、社会に向けて新たな一歩を踏み出しました。

式では、加藤真二理事長が告辞を、

半谷静雄学長が式辞を述べました。続いて白山市長、金城大同学会会長から祝辞が披露され、最後に、卒業生を代表して山下舞さんが答辞を述べました。なお、夜には会場をホテル日航金沢に移し、卒業パーティーが盛大に行われました。



平成28年度入学式

平成28年4月1日



4月1日(金)に、第17回入学式が白山市松任文化会館にて挙行され、社会福祉学部131人(うち編入学生3人)、医療健康学部98人、看護学部88人、大学院リハビリテーション学研究科1人の総計318人が入学し、大学生活の新たなスタートを切りました。

加藤真二理事長が告辞、半谷静雄学長が「人と自然に恵まれた白山市を拠点に、白山市と周辺地域を日本の健康長寿地域にしてみたい」と式辞を述べ、続いて祝辞が披露されました。最後に、新入生を代表し、医療健康学部の與三野央昂さんが「時に悩み、立ち止まることがあっても、仲間と協力して乗り越えられるよう、幅広い知識と人間性を養いながら学生生活に励みたい」と抱負を述べました。式には、多くのご来賓、保護者の皆様にご臨席賜りました。

新入生歓迎会

平成28年4月9日

4月9日(土)に、新入生歓迎会が開催されました。学友会長が新入生に対して歓迎の挨拶を行い、ダンス部による

歓迎公演、クラブ・同好会の紹介、学内施設の見学を目的としたウォークラリー、豪華景品を用意したビンゴ大会を行いました。当日は、大いに盛り上がり、新入生にとつても、先輩と交流ができたことで不安が和らぎ充実した一日となったようです。



新入生合宿研修

平成28年4月15日～17日



いこいの村能登半島にて、4月15日(金)・16日(土)と16日(土)・17日(日)の2班集体で新入生合宿研修が行われました。全3学部の新入生が社会に出るために必要なマナーを身につけ、大学生としての自覚と計画を持ち、学生間の交流を図ることを目的とし、はじめに本学で白山署の方を講師として招き、交通安全についての講習を行いました。その後、いこいの村能登半島へ移動してからは、マナー講座等の研修や交流を行いました。今回の合宿研修を通じて学生間の交流を深め、福祉・医療・看護それぞれの分野で学ぶための第一歩を踏み出すことができたようです。

クラブ・同好会代表者研修会

平成28年6月11日

6月11日(土)に、全クラブ・同好会の代表者を対象としたクラブ・同好会代表者研修会が開催されました。クラブ・同好会担当職員からのクラブ活動支援費申請や活動報告等の書類作成方法についての説明が行われた後に、社会人になるまでに準備すべきことについて学生参加型のディスカッションを行いました。また、昼食をとりながらクラブ・同好会の活性化及び活動に関して工夫している点についての意見交換を行いました。それぞれの団体が抱



える活動に関する問題について話し合えたことで、より一層絆を深めることができたようです。

卒業研究発表会

医療健康学部平成28年10月8日
社会福祉学部平成28年12月～29年2月



10月8日(土)に、金城大学医療健康学部 卒業研究発表会が開催されました。今年度からは理学療法学科と作業療法学科の2学科となります。2学科の学生は3年次よりゼミ教員の指導・支援を受けながら取り組んできた卒業研究の成果を発表する集大成の発表会です。

学生たちは、パワーポイントを用いて、自分の研究成果について自分なりの言葉で説明し、質疑応答では発表で伝えきれなかった内容を相手にわかりやすく伝えるよう努力する様子も見られました。また、教員からの助言や在学生からの質問なども多く見られました。

卒業研究発表会では、優秀発表者の選出が始まり、優秀発表者は教員と学生の投票で選出され、卒業式で表彰される予定です。

社会福祉学部は、12月から2月にかけて各ゼミで卒業研究発表会を行います。

第41回金城祭

平成28年10月22日～23日

今年度は、「Memories begin with smiles」しあわせいっぱい金城祭」をテーマに、第41回金城祭が10月22日(土)・23日(日)に開催されました。「青山テルマ」「カノエラナ」「ティーン・カリーナ」によるゲストライブ、模擬店ステージでの各種イベント等の企画が実施されました。両日とも多くの方に足を運んでいただき、大盛況のうちに幕を閉じることができたようです。



トピックス

公開講座



5月14日から10月8日(各土曜日、全20講座)にかけ、今年度も短期大学部との共同事業として「金城大学公開講座」を開催しました。大学・短期大学の教員による高齢化社会に対応した講座や外部講師による体験講座などが行われ、地域の方々を中心に、多くの方が聴講されています。なお、平成29年度も実施を計画していますので、大学・短期大学部ホームページ等をご覧の上、是非ご参加ください。

ゆうがく広場／悠遊健康サークル

今年度も介護福祉コースによる地域の高齢者の方々との交流を通じたアクティビティ活動として「ゆうがく広場」を、また、医療健康学部による白山市と本学が連携した地域在住高齢者を対象としたマシントレーニング、健康体操などを本学学生と交流しながら行う健康維持・改善講座事業として「悠遊健康サークル」がそれぞれ実施されており、地域の方々からたいへんご好評をいただいています。活動状況等の詳細については、大学ホームページに掲載されていますのでご覧ください。



北國健康生きがい支援事業



9月18日付北國新聞 朝刊

北國新聞社との共催で、一般の方を対象とした「看護講演会」(社会福祉講演会)が、北國新聞会館(金沢市)にて開催されました。今年度は7月9日(土)に、看護学部・樋貝繁香教授による「健やかな老後の暮らしを考える」住み慣れた場所に住み続けるために、9月17日(土)

には、社会福祉学部・山根淳子教授による「穏やかな最期を迎えるために」高齢者の看取りの介護を考える」をテーマに開催し、それぞれ100人を超す多くの聴講者がありました。

第11回保健・医療・福祉創造フォーラム

11月19日(土)に第11回保健・医療・福祉創造フォーラムが本学にて開催され、保健・医療・福祉施設の職員、一般の方、学生などが参加しました。大会テーマを「一人ひとりが輝く共生社会の創造」とし、眞鍋正義氏(プロバレーボール指導者)による講演「逆転発想の勝利学」(組織マネジメント 女性を輝かせるテクニック)が行われました。



講演後にはシンポジウム「共同と個性」これからの社会を支える人材の育成・人間教育の実践が開かれ、専門家を招き、それぞれの立場における現状や展望などを提示し、専門性の高い情報・意見交換の場となりました。

台湾代表女子バレーボールチーム来学・親善試合開催

金城大学の国際交流の一環として、8月25日(木)から29日(月)までの期間で台湾女子バレーボールナショナルチームが来学しました。



滞在期間中、25日には金沢国際ホテルにて、理事長主催のウェルカムパーティーが開催されました。また、連日、本学女子バレーボール部と合同練習を行い、技術面の向上を目指しました。

27日には地域住民など約500人の方々の観戦の中、親善試合を開催しました。開会式では遊学館高校

吹奏楽部による両国歌の演奏もあり、親善試合に花を添えました。試合は25点先取5セットマッチで行われ、台湾代表チームが2セット先取後に金城大学も1セット奪取する展開となり、東アジア地区選手権優勝の台湾代表と競り合い、粘りを見せましたがセットカウント3-1で台湾代表チームが勝利を収めました。当日は、井田正一白山市副市長をはじめとする来賓の皆様や遊学館高校の生徒など、多くの方々にご観戦・ご協力いただき盛大に開催されました。



28日にはランドホテル白山にて、フェアウェルパーティーが開催され、監督・選手一人ひとりに記念品が贈呈されました。本後援会としては、今後も金城大学の国際交流事業の推進に協力していきたいと考えています。

医療情報コース開設

平成29年4月から、社会福祉学部社会福祉学科社会福祉専攻に新たなコースとして『医療情報コース』を開設します。

医療情報コースでは、社会福祉学に加え、診療情報の管理・分析・活用など高度なスキルを身に付け、医療・福祉の両分野に関する知識・技能を習得した人材として病院、福祉施設、一般企業等で活躍できる人材の育成を目指します。主に「診療情報管理士」「社会福祉士受験資格」「ドクターズクラーク」などの資格が取得可能なコースとなります。

なお、医療情報コース開設に伴い、従来の医療・福祉ビジネスコースは学生募集を停止します。本コースの詳細は、大学ホームページ、大学案内、募集要項等をご覧ください。

退任教職員のご案内

看護学部の河村美芳助教、事務職員の小中真彩さん(総務企画部)の2人が平成28年3月末で退職されました。

研究・教育活動報告

研究活動成果報告会開催報告

本学教員を対象に、学内競争的資金として交付される特別研究費・国外研究費に採択された研究活動について、10月22日～10月23日の期間で実施された活動成果報告会（ポスター発表）の発表者は次の通りです。



- ① 東知宏講師（看護学部）
 - ・「エアータオル使用時の使用者に対する飛散水による汚染状況」
- ② 伊藤愛助手（看護学部）
 - ・「生活シートを用いた小学生の水分摂取を促す支援」
 - ・「日本における新人看護師の看護実践能力向上に関するプロセス」
- ③ 岡野大輔助教（社会福祉学部）
 - ・「『教育法規』教育における法教育の展開
～福祉系大学における法教育の実践を踏まえて～」
- ④ 神谷晃央講師（医療健康学部）
 - ・「若年健常者における開脚および片脚立位保持時の下肢アライメントの標準値と男女差」
- ⑤ 烏山亜紀准教授（医療健康学部）
 - ・「軽度発達障害児のバランス能力と足部形状・足趾把持力との関連」
- ⑥ 木村剛講師（社会福祉学部）
 - ・「筆記具の持ち方と書字動作の関係」
- ⑦ 越納美和助手（看護学部）
 - ・「地域女性高齢者の役割意識の及ぼす影響と保健・医療・福祉専門職の介入方法の検討」
- ⑧ 小島聖講師（医療健康学部）
 - ・「拘縮予防を目的とした寒冷浴の効果」
 - ・「持続的他動運動が関節軟骨に及ぼす病理組織学的影響 ラット膝関節4週固定モデルによる検討」

- ⑨ 境美砂子助教（看護学部）
 - ・「白山市の子育て支援の現状とその課題
～全ての子どもが健やかに育つ環境を考える～」
- ⑩ 佐々木賢太郎准教授（医療健康学部）
 - ・「転倒要因としての固有感覚の検証」
 - ・「実業団女子ハンドボール選手の疲労における筋活動変化」
- ⑪ 澤俊二教授（医療健康学部）
 - ・「慢性脳血管障害における総合的追跡調査
－発病10年 リハビリの同定および達成と未達成の推移－」
- ⑫ 田中克恵准教授（社会福祉学部）
 - ・「特別養護老人ホームの終末期ケアによって得た多様な成果
－2施設のグループインタビューの分析より－」
- ⑬ 永井将太准教授（医療健康学部）
 - ・「在宅脳卒中患者における地域での活動範囲に影響を及ぼす因子の検討」
- ⑭ 野口雅弘講師（医療健康学部）
 - ・「血液透析患者における身体活動量・運動機能・および動脈硬化指標の関連性の検討」
 - ・「血液透析患者に対する透析中の低強度臥位エルゴメータ運動介入による血液データへの影響」
- ⑮ 樋貝繁香教授（看護学部）
 - ・「卒後2年目看護師の看護実践への思い」
 - ・「周波数解析から捉えた早産児の泣きの特徴」
- ⑯ 藤川君江講師（看護学部）
 - ・「被災地・離島・限界集落に生きる1人暮らし男性高齢者の精神的自立要因」
- ⑰ 藤田三恵教授（看護学部）
 - ・「高齢慢性心不全患者の再入院に関する実態調査」
- ⑱ 丸尾朝之講師（医療健康学部）
 - ・「成人健常者における運動イメージ能力と立位バランス学習の関係」
- ⑲ 山本拓哉講師（医療健康学部）
 - ・「ベルト速度変化が分離型トレッドミル歩行に及ぼす影響の運動学的分析」

(五十音順)

科学研究費助成事業採択状況

文部科学省及び独立行政法人日本学術振興会による科学研究費助成事業は、人文・社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、豊かな社会発展の基盤となる独創的・先駆的な研究に対する競争的研究費（助成制度）です。平成28年度の採択・交付者は次の通りです。

【金城大学】

- ① 川邊弘之教授（社会福祉学部）【研究代表者】
 - ・「視野障害学生のためのHMDシステムの研究
－視線移動を考慮した健常者視野の提供－」
- ② 木林勉教授（医療健康学部）【研究代表者】
 - ・「大学生と高齢者が協同学修で開発する介護予防支援者養成教育プログラム」
- ③ 越納美和助手（看護学部）【研究代表者】
 - ・「大学生と地域住民の多世代協働による『観光資源活用型健康増進プログラム』の開発」
- ④ 佐々木賢太郎准教授（医療健康学部）【研究代表者】
 - ・「転倒要因としての固有感覚の検証」
- ⑤ 下村有子教授（社会福祉学部）【研究代表者】
 - ・「夜盲などの光感受性が低下した学生のための暗視カメラを用いた支援システムの開発」

- ⑥ 高山成子教授（看護学部）【研究代表者】
 - ・「血液透析を受ける認知症高齢者の主観的経験
－標準的看護方法構築に向けて－」
- ⑦ 永井将太准教授（医療健康学部）【研究代表者】
 - ・「理学・作業療法士の臨床実習における学生支援のためのeポートフォリオの開発と検証」
- ⑧ 樋貝繁香教授（看護学部）【研究代表者】
 - ・「早産児の脳神経の発達促進を支える家族への睡眠教育プログラム」
- ⑨ 彦聖美教授（看護学部）【研究代表者】
 - ・「男性介護職のソーシャル・キャピタルの特徴を踏まえた健康支援のあり方に関する研究」
 - ・「高齢期の妻や親を介護する男性介護者に対する地域特性に基づく支援のあり方」
- ⑩ 藤川君江講師（看護学部）【研究代表者】
 - ・「消滅危惧集落の1人暮らし男性高齢者を支える地域支援システムの構築」

(五十音順)

【金城大学短期大学部】

- ① 瀬戸就一教授（ビジネス実務学科）【研究代表者】
 - ・「360度カメラを用いた聴覚障害学生のアクティブラーニング参加支援システムの開発」